

第15回 ユネスコスクール全国大会 第5分科会

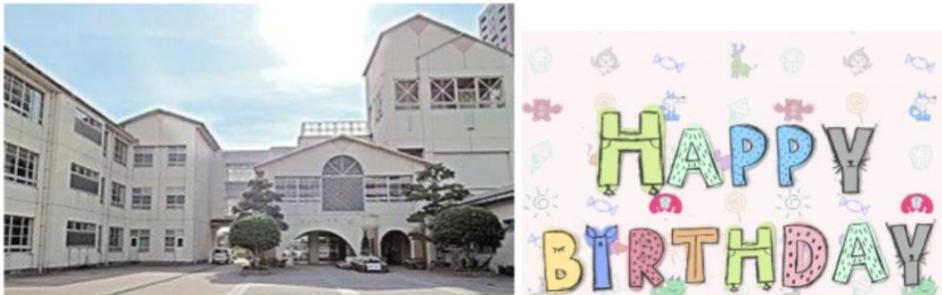
I C T を活用し新しい時代を生きる

児童の育成をめざす学校経営

～ I C T 推進モデル校・ユネスコスクールとしての取組～

令和6年1月20日（土）

令和4年度(2022年)は、
百道浜小の30さいのおたんじょう日



令和4年度(2022年)
百道浜小30周年 アニバーサリー



福岡市立百道浜小学校
校長 酒井美佐緒

花と緑とかがやく笑顔いっぱいの百道浜小学校



児童数 約470名

学級数 18学級（特別支援学級1）

実態 戸建て地区とマンション地区
教育への関心が高く、協力的

特色 **福岡市小学校唯一の**
ユネスコスクール認定校10年目
芝生の運動場で遊ぶ
本校ならではの芝生作業が
毎月行われる&自動芝刈機
(ももしばくん)が稼働中



ユネスコスクールとしての取組

•ESD(持続可能な開発のための教育)の推進拠点校として、持続可能な社会の担い手を育む教育の実施

☆「世界を視野に、未来に挑む」子どもたちを育てる教育の推進

①環境やエネルギー ②日本の伝統文化

③国際理解 ④コミュニケーション力に関わる教育



1年生 5年生 大相撲体験学習



6年生 能楽体験学習



6年生 卒業茶会

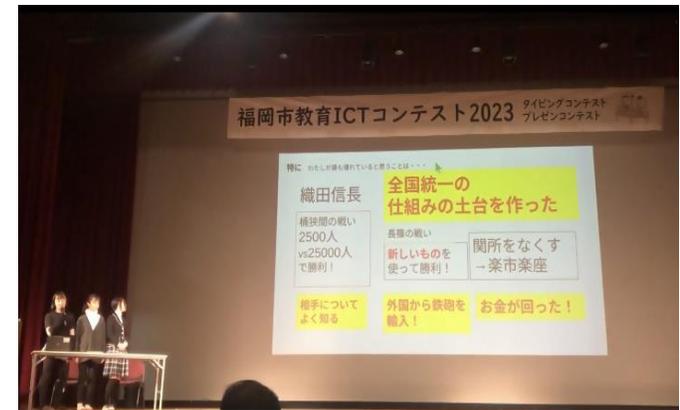
ユネスコスクールとしての取組

•ESD(持続可能な開発のための教育)の推進拠点校として、持続可能な社会の担い手を育む教育の実施

☆「世界を視野に、未来に挑む」子どもたちを育てる教育の推進

①環境やエネルギー ②日本の伝統文化

③国際理解 ④コミュニケーション力に関わる教育



ICTも活用した対話活動を大切にした授業(全学年、全学級)

I C T を活用し新しい時代を生きる

児童の育成をめざす学校経営

～ I C T 推進モデル校・ユネスコスクールとしての取組～

- 1 校内全体で I C T を活用していく
- 2 保護者・専門家と共に I C T を活用していく
～デジタル・シティズンシップ教育の歩み～
- 3 これからのチャレンジ

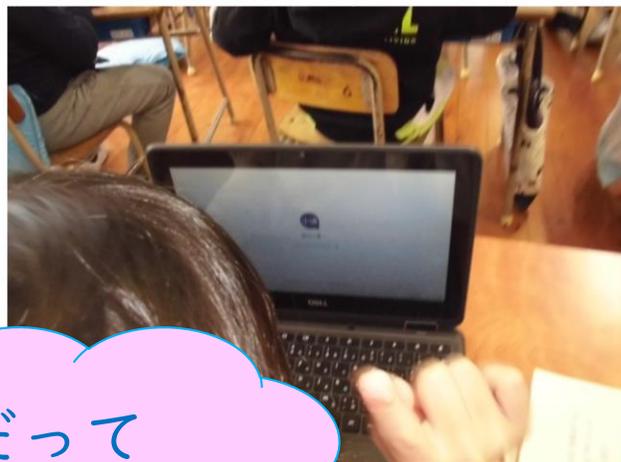
☆ ICT教育の充実（校長による端末デビュー式）

ひとり1台^{だい}
クロームブックを使います^{つか}

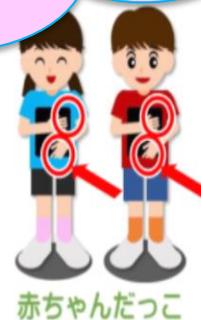
「クロームブックデビュー」式

ふくおかしりつもちはましようが
福岡市立百道浜小

参考資料：菅野光明（元札幌市立小学校長）



「ねんせいだって
じぶんで
できるもん！」



両手(りょうて)  で
赤ちゃん(あかちゃん)だっこ

下(した)をしっかりとつかむ

赤ちゃんだっこ

©2020 KANGAERU,LLC.

- ・おなかにつける。
- ・おしりをつかむ
- ・よこをおさえる。

学校経営構想「百道浜スタイルのアップデート+」

ICTを活用し新しい時代を生きる児童の育成をめざす学校経営
～百道浜小スタイルのアップデート+を通して～ 令和5年度



福岡市 目指す子どもの姿 やさしさとたくましさを持ち ともに学び未来を創り出す子ども

情報活用能力・判断力の育成
個別最適な学び・協働的な学び
ベストミックス

・テーマ研究を中心にGoogle Workspaceの共同編集機能
やコメント機能等を活用し、

校務改善・指導力向上
職員間の多様なコミュニ
ケーションの活性化

・各種アンケートのGoogleフォームへの移行
による改善化

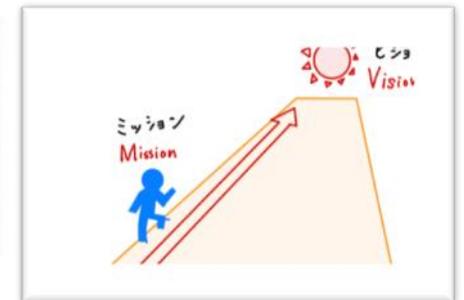


- 一律から個々へ 一斉から多様へ
 - 管理から信頼ベースへ
 - 自己選択・決定・判断・行動の機会
 - 自学・とも学
 - 実践・共有・交流
- ・・・従来のやり方を見直そう
- ・・・任せ、認め、支え合おう
- ・・・安全に失敗する機会を増やそう
- ・・・学校だからこそ、自分で学ぶ・みんなで学べる。誰一人取り残さない
- ・・・できることからやってみる。みんなのアイデアは宝の山

校内全体でICTを活用していく 「第1回ICT研修」から大切にしてきたこと



ビジョンの共有 (どんな子どもを育てたいか) ICT活用能力の具体化 (そのために何ができるようにするのか)

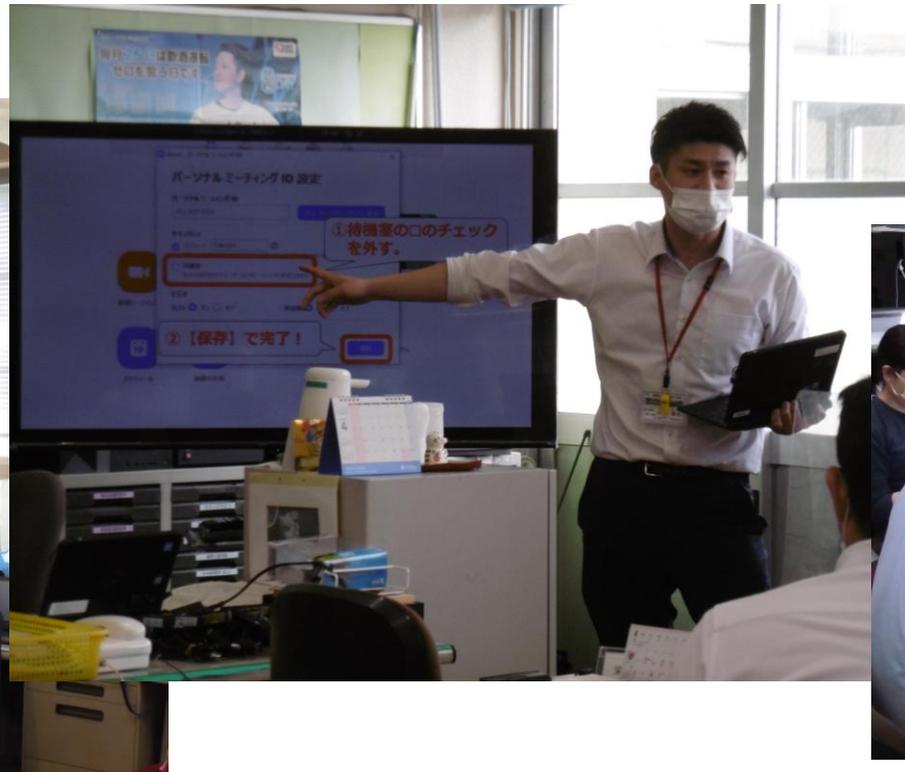


令和2年10月30日 校内ICT研修

授業づくりとICT活用

研修を通じた ICT活用の具体化:ICTリーダー研修

- 推進リーダーを中心としたICT推進部会での研修内容の検討
- 教職員のニーズに応じたICT研修の柔軟かつ計画的な開催



ICTを活用した実践のアップデート+（令和5年度 夏季研修）



少人数グループで行う
実践交流会

一人一人のキャリアやニーズに
合わせて



ICTを活用した 実践のアップデート+（令和5年度夏季研修）

先生たちの感想

- ✓先生方がいきいきと話をされている姿を見て、普段ICTを積極的に（当たり前のように）活用している様子が伝わってきた。
- ✓少人数のグループで行うことで、一人一人の考えや思いが伝わりやすかった。
- ✓同じ悩みを抱えているからこそ話しやすいこともありました。小人数に分けて自由に話をする研修もたくさんの学びがあり、新しい研修方法ですごく新鮮でした。
- ✓各教科・各学年等におけるアプリ、ソフトを使った学習指導方法を知ることができました。数多くの実践がされていることが、すごいなと思いました。学年、キャリアが異なる中、とてもいい雰囲気、「それは何?」「どうしたらいいの?」など気軽に質問や話ができる研修でした。
- ✓これから夏休みがあるので、その間に気になるものを調べてみたいと思いました。
- ✓ICTの活用できるサイトがスプレッドシートにまとめられているのを知ることができてよかったです。
- ✓これからデジタルシテイズンシップ教育や小中連携がキーになってくるのでは、と感じました。

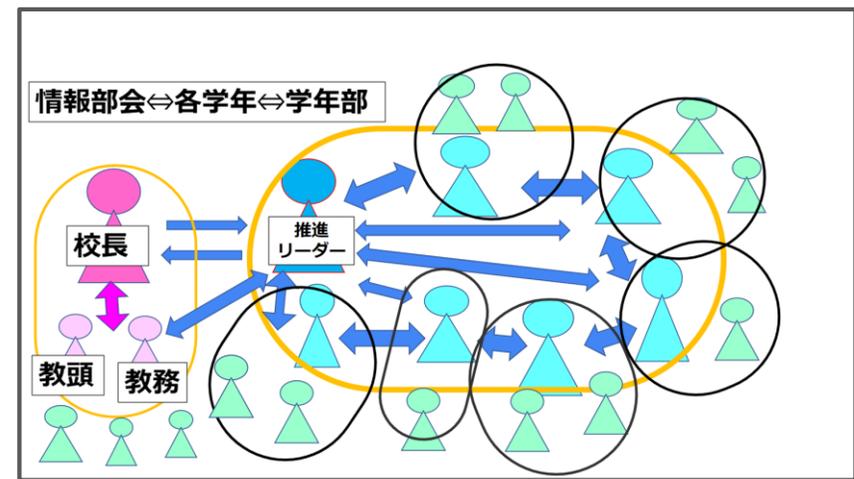
「学校アップデート」教育DXへの足がかり Google Workspace の活用：教材のデータをクラウド上で



1. 明日から使えるG suite

得意な人がつくってわたす

使えそうなものは**共有**しよう



実践共有 Google Classroom

職員室・各学年 Google Classroom

「学校アップデート」教育DXへの足がかり Google Workspace の活用：教材のデータをクラウド上で

【教材の共有化】 Class room をプラットフォームに

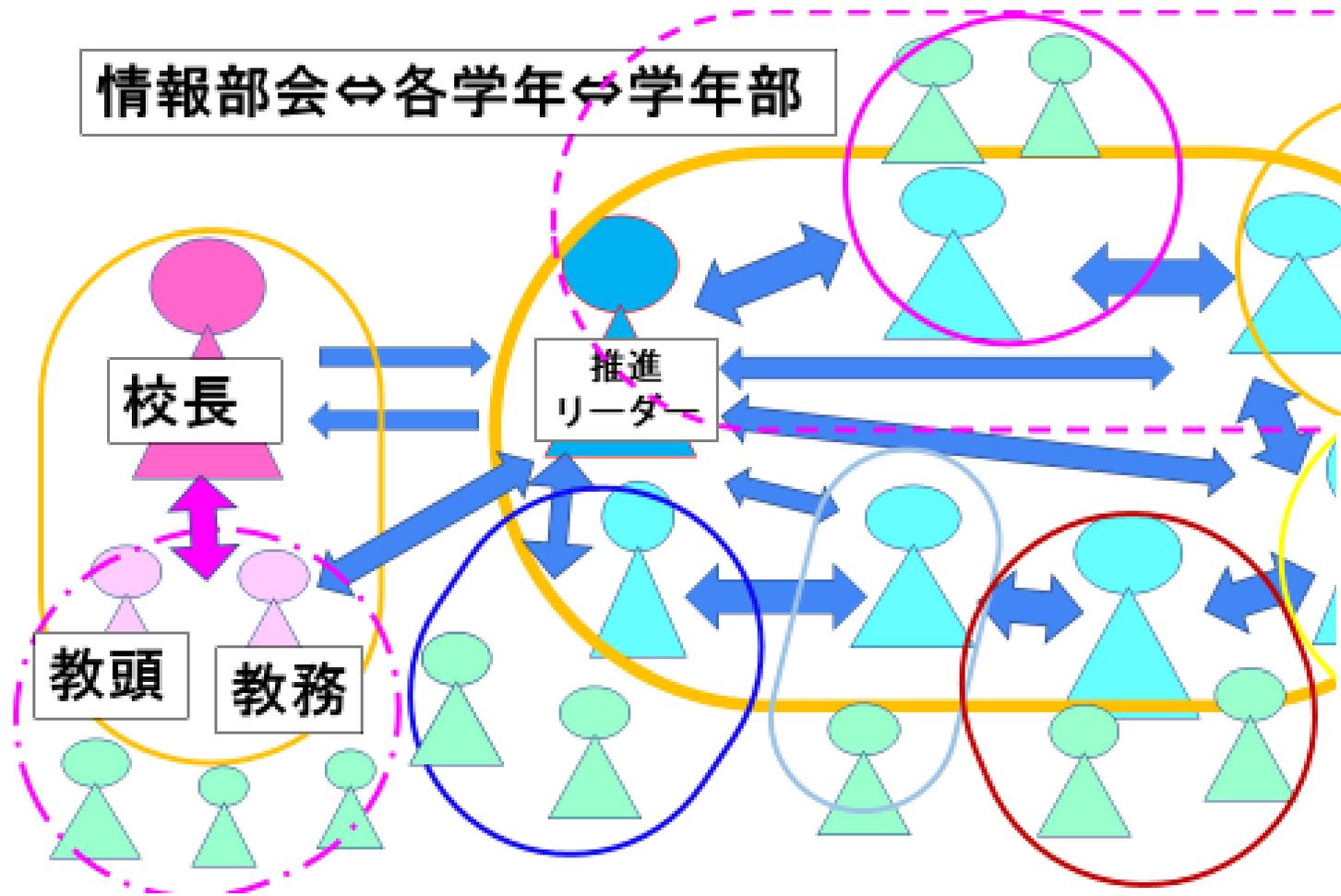
- データ管理が紙ベースからデジタルに移行
- 共有データを「コピー&アレンジ」で使う

【教材の共有化】 Class room をプラットフォームに。

①教材の共有化

0から教材を作るよりも、はるかに時間短縮できる。作った**教材はたたき台**。**データ**だから、クラスの実態に合わせて、作り変え易い。
(コピーを作成)

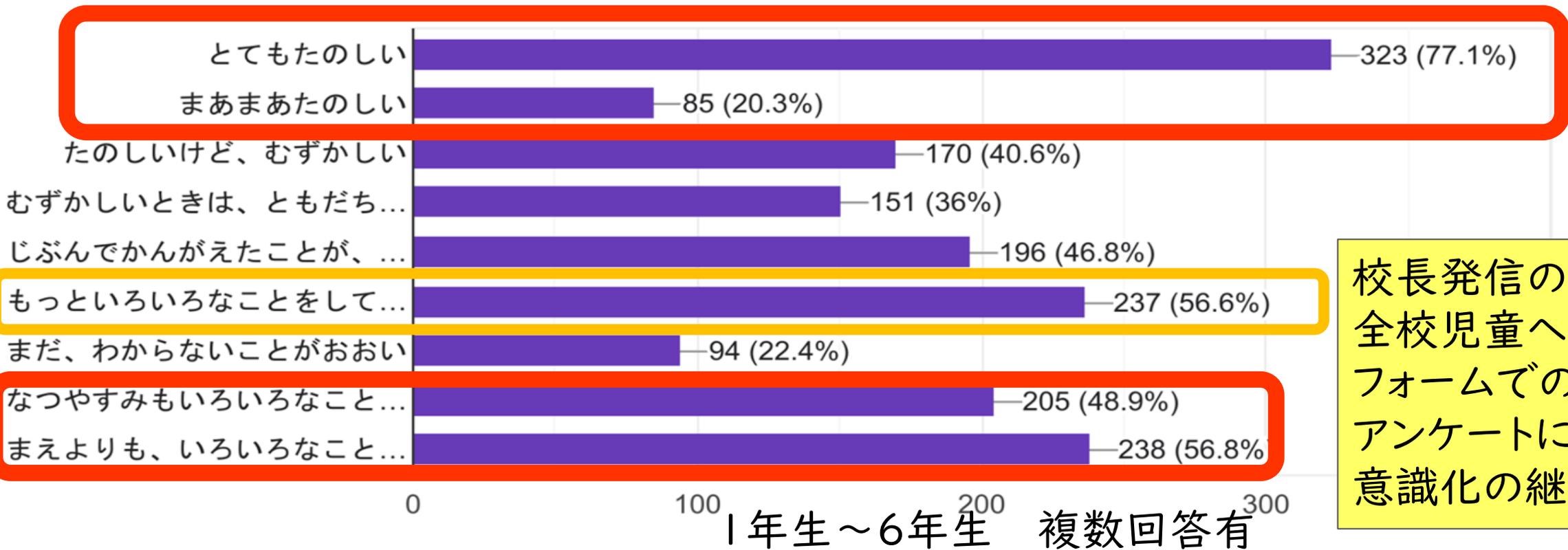
校内全体でICTを活用していく 推進リーダーを核とした推進チームの組織づくり



- ⇒各学年への内容の派生
- ・ 学年間、学年部間での教材の共有
 - ・ 校務分掌間での活用
 - ・ 学校全体のために使えるスライドづくり（専科チーム）

校内全体でICTを活用していく 令和5年度「百道浜スタイル」のアップデート+

児童の振り返りアンケート 令和5年度 7月末



校長発信の
全校児童への
フォームでの
アンケートによる
意識化の継続!

保護者・専門家と共にICTを活用していく

百道浜小 令和3年度（2021年）のあゆみ

1人1台
端末活用2年目

端末持ち帰りの試行

新しい学びに向けた研修

ICT活用の広がり

学びを止めない
オンライン授業

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

家庭での端末の活用についてのリーフレット（R3年度より実施）

【令和4年度用 配付資料】

クロームブックを活用した家庭学習について ～家庭と学校の学習の往還を目指して～



☆百道浜小学校では、日常的に、クロームブックを活用した家庭学習を行う予定です。課題の中に、クロームブックを活用できる課題も出します。また、自主学習として、さまざまな学習にも取り組めるようご家庭のサポートもお願いいたします。

目的

自ら進んで学習をする経験をさせることで、「学びに向かう力・人間性」を育む。

目標

- 1人1人の子どもたちが、クロームブックの活用を通して**将来必要となる能力を身に付ける**ことができるようにする。
- AIドリルなどの活用により、子ども1人1人の学習状況に応じた「**個別最適な学び**」が実感できるようにする。
- 学習の記録などの共有を通して「**協働的な学び**」が実感できるようにする。

保護者の皆様へ

- 日常的にクロームブックを持ち帰り、学年の課題以外の学習にも取り組めるように、家庭学習計画を立てるサポートなどお願いします。
- クロームブックは、学校からの貸与ですので、保護者の方の管理のサポートをお願いします。使用時間制限等については、添付の資料を参考にお子様と話し合いながら、「善き使い手」となるようご支援ください。

裏面もご覧ください

mission

vision

ICTを活用した新しい時代を生きる児童の育成を
めざす百道浜小学校
～百道浜小スタイルのアップデートを通して～ 令和4年度

情報活用能力の育成 個別最適・協働的な学びでの活用（例）

【将来必要となる能力につながる学習】

令和4年度から高校において「情報」の学習で、プログラミングが必修となりました。また、大学入試（東京大学等）にも「情報」が加わるようになります。キーボード入力は、今後、必須スキルとなります。自主学習として、タイピングに取り組むこともできます。昨年度の夏休み明けには、タイピングが速くなった児童も全学年にわたり、みられました。親子でタイピングチャレンジもいいかもしれません。



タイピング練習サイト(例)
・キーボードアドベンチャー
・すし打
・POPタイピング

【個別最適な学びにつながる学習】

「福岡TSUNAGARUCloud（つながるクラウド）学習動画」（動画数 約2000、毎月随時配信、視聴時間1つ3分程度）については、定期的に教育委員会より配信されています。概ね、金曜日にGメールで、子どもたちのクロームブックにもお知らせが来ていました。学習動画を視聴して、復習や予習に活用することができます。春休み前の子どもたちのアンケートにも「次の学年のために、自分で動画を見て、復習や予習をしたいです」という活用への意識もありました。日常的に、ふり返りにも活用できます。お子様と一緒にご覧いただいてもいいかと思います。



学習動画は各学年毎に複数教科あります。
例・1、2年：こくご、さんすう、ずこう、たいいく、そのほか、ほごしゃのかたへ
・3～6年：国語、算数、社会、理科、図工、体育、じょうほう、その他
※中学・高校・特別支援もあり、自分で選んで視聴できます。

保護者・専門家と共にICTを活用していく

百道浜小 令和3年度（2021年）のあゆみ

1人1台
端末活用2年目

端末持ち帰りの試行

☆ ICT教育の充実

家庭での端末の活用について



これまでの取組

- オンライン土曜授業（R2年度1/23, 2/20）
- オンライン授業配信（コロナ不安対応等個別対応）

R3年度 端末の持ち帰り活用

- タブレット端末持ち帰りにかかる確認書
- [オンライン学校説明会・学級懇談会でのお知らせ](#)

- タブレット端末持ち帰りの試行期間
- 家庭での端末の活用例の紹介

R3年度も、緊急時も含めた家庭でのタブレット端末活用のため、積極的に研修し、新しい学びのアップデートをめざします！

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

保護者・専門家と共にICTを活用していく

百道浜小 令和3年度（2021年）のあゆみ

1人1台
端末活用2年目

端末持ち帰りの試行

家庭での端末の活用について

○ タブレット端末持ち帰りの試行期間（予定）

5月24日～28日：お試し期間1（週1日程度の持ち帰り）

5月31日～6月4日：校内での活用に関する職員研修

6月7日～6月末：お試し期間2（週1～3日程度の持ち帰り）

7月～1学期末：発達段階に応じた持ち帰り（回数を増やして）



子どもたちの活用の状況を把握しながら、よりよい活用ができるように、順次、取り組みを進めていく予定です。

- 細かなステップ
- 子どもたちの様子
- 担任の声
- 保護者の声を聴く
- ☆ 改善しながら進めていく

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

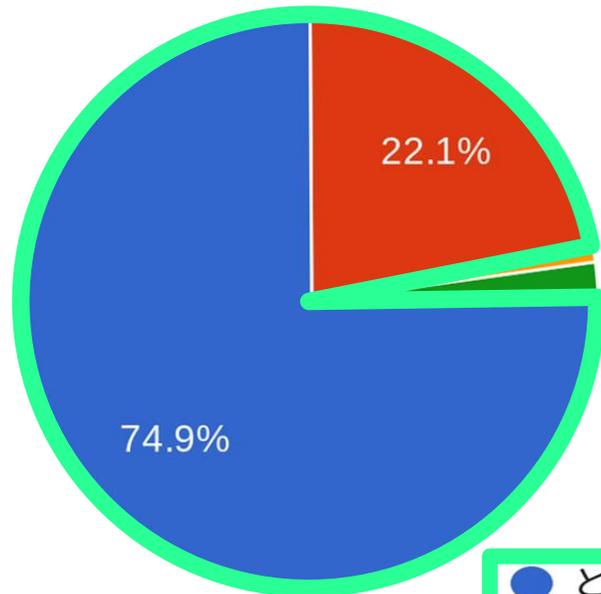
1月

2月

保護者・専門家と共にICTを活用していく

令和3年度 端末持ち帰りの試行⇒保護者アンケート

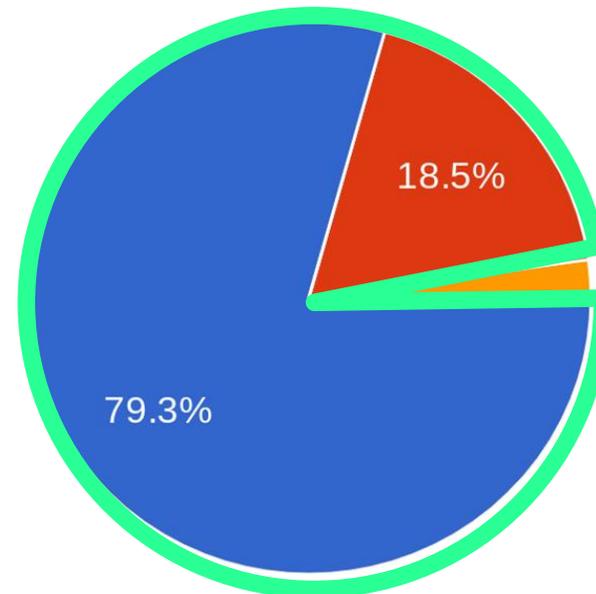
①子どもがChromebookを使っている様子



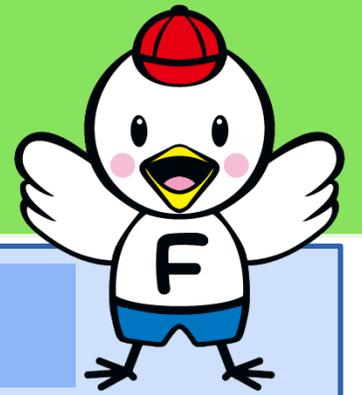
- とても楽しそうだった
- まあまあ楽しそうだった
- あまり楽しそうではなかった
- わからない

②自主的に取り組んでいるか。

- 子どもだけで、進んで取り組んでいた
- 時々、親やきょうだいにたずねながら取り組んでいた
- 子どもだけで取り組むのは、難しそうだった



保護者アンケートをもとに、ICT活用の意識化を



保護者の声（よかった点）

- 良かった点① 端末を使う力がつく
- 良かった点② 学校や学級の取り組みが評価されている
- 良かった点③ 子どもの成長、
コミュニケーションの機会
- 良かった点④ 自主的・意欲的に学んでいる
- 良かった点⑤ よりよい学びになっている
楽しそう

保護者の声（課題点）

- 課題点① 身体への影響（視力）
- 課題点② 身体への影響（重さ）
- 課題点③ 時間の管理
- 課題点④ 課題や操作方法を明確に
- 課題点⑤ 端末の扱い方

保護者・専門家と共にICTを活用していく

「デジタル・シティズンシップ教育」と共に
ICTを活用していく

「デジタルのよきつかい手」となるように、
「デジタル・シティズンシップ教育」の推進



保護者・専門家と共にICTを活用していく

百道浜小 デジタル・シティズンシップ（DC）教育のあゆみ

1人1台
端末活用開始

R2年度
(2020)

デジタル・シティズンシップ
教育との出会い
校長研修

R3年度 (2021)

DC教育のオンライン
校内研修

DC教育のオンライン
出前授業
校内研修

ICT推進モデル校
DC教育の取組開始

R4年度 (2022)

DC教育を全市に発信
DC教育の授業公開

DC教育の推進
・保護者への啓発
・カリキュラムの位置づけ

R5年度 (2023)

ICTのよき使い手となるために

デジタル・シティズンシップ教育 令和3年度



令和3年度（2022.1.31）オンラインでの授業研修



2年生
「デジタル足あと」



4年生
「責任のリング」



6年生
「ネットいじめ？」

家庭と学校とともに、子どもたちの新たな学びの道具としてのICTとの付き合い方に取り組む姿勢を大切にする

令和3年度（2022.1.31）オンラインでの授業研修

百道浜小学校 2年生「デジタルの足あと」

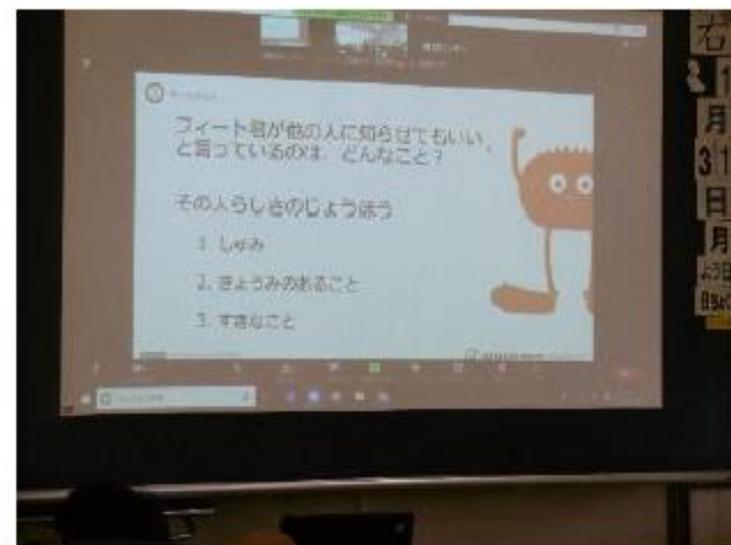
1 授業の様子（写真）



講師の先生とオンラインで



友だちと自分の考えの交流を



スライド「デジタル足あと」

2 学習の感想（児童）抜粋

A：いろいろな足あとがわかりました。デジタルの足あとのいみが分かるようになって、うれしかったです。いろいろなネットなどのしくみがわかりました。また、勉強したいです。

B：デジタル足あとのおかげで、自分がさいしょは、たんじょう日はおしえていいと思いましたが、おしえてはいけないことがわかって、ほっとしました。「デジタル足あと」をずっとおぼえておきたいと思いました。

C：とっとりけんの先生とオンラインでつないでできたので、たのしく学習ができました。デジタル足あとの学習で、いろいろなクロームブックのしくみとか、やったらだめなことを知りました。

3 お家の人の感想（抜粋）

A：“デジタル足あと”は、はじめて聞きました。子どもに教えてもらってよくわかりました。お母さんは、パソコンやインターネットのしくみについてあまりくわしくありません。学校で習ったことをまた、たくさん教えてくださいね。

B：インターネットを子どもに使わせることに抵抗がありましたが、これだけ理解をしていれば、大丈夫だと安心しました。決して、人を傷つけることのないよう楽しく便利に使って欲しいと思います。

C：コロナ禍の中で、いろいろと新しい学習方法で学びができている子どもたち。遠く離れている鳥取県の先生と個人情報の勉強をしたそうで、小学校低学年で、すでにこのような勉強をするなんて、素晴らしいと思いました。

保護者・専門家と共にICTを活用していく

学校だよりで発信！ 「デジタル・シティズンシップ教育」

「デジタル・シティズンシップ教育」オンライン出前授業

1月31日（月）は、全国的に講演活動などを行っていらっしゃる今度珠美（いまだたまみ）先生に、オンラインでの出前授業を2、4、6年生に向け行っていただきました。鳥取県と百道浜小をつないでのはじめてオンライン授業でしたが、画面を通して、子どもたちの真剣な姿が伝わりました。2年生は、「デジタル足あと」。4年生は、「責任のリング」。6年生は、「それってネットいじめ？」の学習をしました。それぞれの学年の実態にあわせ、今学んで欲しいことを分かりやすく、そして子どもたちが主体的に考え行動できるようにと学習をまとめていただきました。何より、学校で学習したことをお家でも伝えられるようなふり返りの活動も組まれていました。早速、実施したクラスからの**保護者の皆様の感想もいただき、「子どもたちがICTの善き使い手となるため」学校と家庭と共に取り組んでいく大切さを実感しました。**お忙しい中、子どもたちのお話に耳を傾け感想をしたためていただき、心より、感謝申し上げます。



2022.2.3 発行

DC教育を全市に向けて発信（ICT推進モデル校としての取組）

令和4年度 12月21日 デジタル・シティズンシップ教育
講師 今度 珠美氏



「デジタルのよきつかい手」となるように、
「デジタルシティズンシップ教育」の推進

- 「デジタルのよきつかい手」となるように、
- ・ 「ひとやすみ・たちどまる」
 - ・ 「（どうすればいいか）かんがえる」
 - ・ 「（こまったときは）たずねる・そうだんする」
- をたいせつに！

DC教育を全市に向けて発信

令和4年度 12月21日 デジタル・シティズンシップ教育
講師 今度 珠美氏



1年「自分のPCとしょうずに
つきあうには？」



3年「自分のメディア balan
スを考えよう」



5年「自分のメディア balan
スを考えよう」



職員研修「それってネット
いじめ？」

ICTのよき使い手となるために 「デジタル・シティズンシップ教育」

2学期末には、デジタル・シティズンシップ教育として、鳥取県情報モラルエドゥケーターの今度珠美先生を講師にお迎えして、子どもたちとともに学ぶ学習にも取り組みました。

学習した後、お家の人にも学習したことを子どもたちの言葉で伝え、感想をいただくという「主体的な情報リテラシー教育」を行うことで、**家庭と学校とともに、子どもたちの新たな学びの道具としてのICTとの付き合い方に取り組む姿勢を大事にして**いこうと考えています。（学校だよりでの紹介）

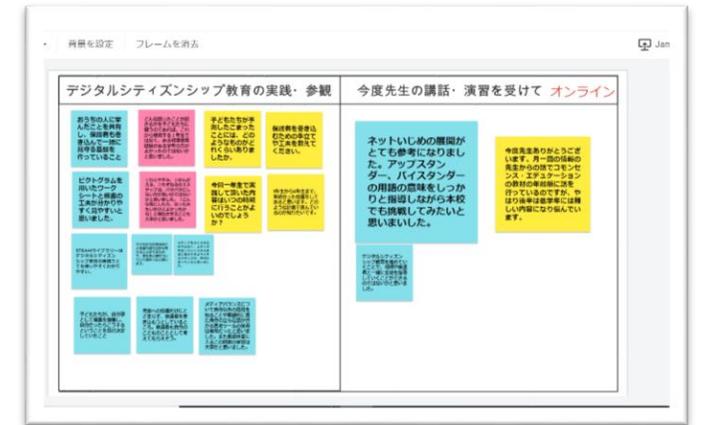
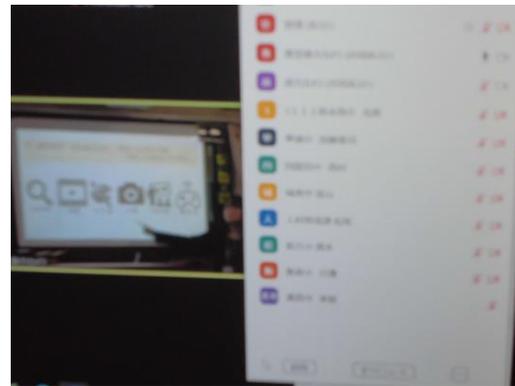
「学校の枠を越えたICT利活用へ」：DC教育を全市に発信

令和4年度 12月21日 デジタル・シティズンシップ教育

講師 今度 珠美氏

福岡市授業改善推進モデル校授業公開・講演会

オンラインで「授業公開配信」「講演会」を全市に！



- 福岡市教育センター（長期研修員）との連携によるオンライン授業配信の取組
- GIGA端末を活かしたこれからのDC教育の考え方を授業公開を通して発信
- 授業協議会もジャムボードを活用し、リアル協議にチャレンジ

DC教育を全市に向けて発信・ハイブリッド研修

令和4年度 12月21日 デジタル・シティズンシップ教育 講師 今度 珠美 氏の講話を受けて 研修参加者の感想



・ ICTの利活用を阻害するのではなく、利活用を広げることがを前提としICTの良い使い手になるように、教育を進めていくことの大切さを再確認しました。また、児童が自分のこととして考え、どのように行動するのかの自己決定をしていくことの大切さ、保護者も一緒に学んでいくことの大切さも感じました。

・ 態度や考え方を育成するモラル教育に対し、行動面を育てていくのがデジタル・シティズンシップ教育だと解説していただき理解が進みました。アップスタンダー、バイスタンダーのアメリカでの捉え方を知ることができたこともこれからの指導にいかせそうだと思います。

・ 「デジタル・シティズンシップ教育は未来について考える教育、善き市民となるための教育」という言葉が心に残りました。

ICTのよき使い手となるために 「子どもたちと共にかんがえる」機会を



クロームブックをつかった学習にも

チャレンジしよう

- タブレットを使うときの5つのやくそくをまもろう
- おうちの人と決めたやくそくをまもろう
- タブレットを、たいせつにつかおう

終業式での持ち帰りの確認

クロームブックをつかうときの5つのやくそく

□ ルールを守って使おう

30分使ったら1回休む、学校のタブレットは
べんきょうに関係のないことに使わないなど、
学校やおうちのルールを守って使おう。



百道浜小のみんなが考えたルール ・大事にすること

- ・ 不要なインターネット検索をしない
- ・ 著作権の侵害にならないようにする。
- ・ 変なサイトに入らない
- ・ 学習に関係ないことは調べないことが大切だと思います。
- ・ ユーチューブを見たりすること
- ・ 人が見てないところで怪しい行動をしない。
- ・ チャットやメール機能を使わない
- ・ 有害なサイトへのアクセスについて気をつける
- ・ 必要なこと以外に使わない
- ・ 著作権のある資料や個人情報を使わない
- ・ ネットの情報を全て正しいと思い込まないのとネットの怖さ。
- ・ 長時間使用しない
- ・ 課金などをするなど詐欺のサイトのに迷い込まないように、

子どもたちが考えたやくそく

これからのチャレンジ

「地域・保護者へのアプローチ」：学校SP会議・OL学校説明会資料

☆ 1人1台端末を活用した 新たな学びの充実

第2次福岡市教育振興基本計画

ここに力を入

教育DXの推進

- 学校だよりなどのペーパーレス化の推進
(安心メールでの配信) ※希望者への紙媒体配付
- Gフォームを活用したアンケートの推進
- 学校ホームページの活用促進
- 「ICTのよき使い手となる」デジタルシティズンシップ教育の推進 PTAとの共催
- 端末持ち帰りによる「学校と家庭」の学びの連続性

クロームブックを使うときの5つのやくそくをまもって、
「デジタルのよきつかい手」となるように、
「ひとやすみ・たちどまる」
「(どうすればいいか)かんがえる」
「(こまったときは)そうだんする」をたいせつに!

2学期の復習を未来... したいです
自学で自分が知らないことを調べてみたり、そ
冬休みの行事について、気になることを調べて
算数のドリルパークを全部終わらせる!!!
わからないことをつながるクラウドの動画で
お母さんにスライドのつくりかたをおしえてお
クロームブックにくわしくなってもっといろし
ここに... ばも... 年生の... を... ばし... たい

12月 デジタルシティズンシッ
講師 今度 珠美氏

「デジタルのよきつかい手」となるように、
「デジタルシティズンシップ教育」の推進

百道浜小 職
百道浜小 職員室
101

百道浜小ちよこっと教育DX……持続可能な……



参観・公開学習時の出席確認を フォーム・QRでチャレンジ中！

- 名簿を掲示しない⇒個人情報保護
- 集計が簡単⇒担任の業務削減
- 校務DXの周知
⇒保護者・地域の理解促進



保護者への 事前メール配信

【百道浜小】明日の学校公開日の
出欠確認について

保護者 様

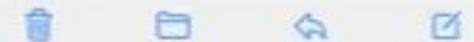
日頃より本校教育にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

本日18日(土)の学習参観につきまして、出欠確認をGoogleフォームにて行います。各授業会場にQRコードを掲示していますので、そちらよりご回答をお願いいたします。

なお、お子さま一人につき1回答をお願いしています。

(例：お子さまが2名の場合は、フォームを2日送信)

どうぞよろしくお願いたします。



校長として、国・教育の動向にアンテナをはり、常に最新の知見から学ぶ姿勢を！

- 1 校内全体でICTを活用していく
⇒ICT推進リーダーを支え、まわりとつなぐ
- 2 保護者・専門家と共にICTを活用していく
⇒保護者を味方に、チーム学校のハブ役を
- 3 これからのチャレンジ
⇒R5年度以降の学校運営・教育活動の基盤に「ICT活用」の意識をもち、構想を

おわりに

- 「デジタル・シティズンシップでよき行動を学ぶ」
デジタル・シティズンシップ教育は未来について考える教育
- 「教育・校務のDXは、意思決定を行うトップ次第」
- 「もう少し先の未来をイメージして、校長としての覚悟を持って、学び続けよう！」
- ☆ 「世界を視野に、未来に挑む」

第15回 ユネスコスクール全国大会 第5分科会

I C Tを活用し新しい時代を生きる

児童の育成の育成をめざす学校経営

～ I C T推進モデル校・ユネスコスクールとしての取組～

チーム百道浜で
Trial & Error!

子どもたちの
輝く笑顔のために



福岡市立百道浜小学校 校長 酒井美佐緒